

## 年長組



運動会前、先輩からもらったポンポンを持って遊んだことを話してくれた日、普段『踊り』が苦手と思ってやらない我が子が、キラキラした目で嬉しそうに話してくれたことを鮮明に覚えています。先輩からのパワーと、お友だち、先生のエネルギーで、我が子の『踊り』への苦手意識が薄れ、「楽しい」に火が灯った瞬間だったと思います。

我が子が、年少・年中の頃は、先輩達の鉄棒やはしご、ポンポンやリレーを見て、（大丈夫？君できるの？）と思っていましたが、我が子なりに自分のできる範囲でやり切っていて、（勇気を出して練習したんだろうな〜）（絶対、怖がっただろうに…）と想像して泣きそうになりました。



リレーは年少から先輩達を見てきて、全然知らないお子さんなのに、毎年感動していて、今年は、知っているお子さん達多いし、絶対もう涙…で、ダメだろうなと思っておりました。思った通り、知っている子達の頑張っている姿、かっこよくて、悔しがっているところも、気持ちが痛いほどわかり、泣けてきて、大きい声で声援を送ろうと思っていたのにできませんでした。

リレーは年長さん、みんな速くてびっくりしました。練習の時から、幼稚園で話し合いをしながら、走順を決めたり、作戦を話したりしていると子どもから聞いていました。「走るのが苦手な子もおどろいちゃ、だから、その次は、速く走れる子がくるんよ」とか話していました。リレーを練習した日は、帰るとき、「今日は勝ったよ」「今日負けた〜」と教えてくれ、リレーにかける想いが熱いことがよく分かりました。負ける悔しさも感じることで、子ども自身は辛いかもしれませんが、それもよい経験だなあと感じました。負けたことは悔しいけど、たくさん話し合いをしてきて頑張ってきたこと、そのものがすごいこと!! という運動会後のフォローなどもしっかりしていただけるとありがたいと思います。



当日は、感動の嵐でした。つなひきの一生懸命の姿や、障害物をたんと乗り越えていく姿に、成長を感じました。ポンポン演技はとにかく、衝撃を受けました。ダンスをしっかりと覚えていることはもちろん、複雑な隊形移動をこなしていることに、こんなに成長するのかと感動しました。手足をしっかりと伸ばして姿勢よく踊っていて、とても誇らしかったです。みんな上手でしっかり揃ってはいたけど、園児らしい、ピリピリした感じのない演技にのびのび練習させてもらったんだなとわかり、それもうれしく感謝です。

運動会が終わって…「がんばったね！かっこよかった〜」と声をかけると、「がんばったっていうかんじじゃなくて…全部楽しかった!!」と、少し考えてキラキラ笑顔で話してくれました。それを聞いて、本当に自分からのびのびと楽しんで取り組めたんだなとうれしくなりました。



運動会が終わった後、「OOくんね、まだしんどかったのに（お休みしていたため？）、一生懸命走っててすごかったんよ！」と笑顔で話していました。お互いのことを思い合い、お友だちとの仲も、より深まった経験になったのかな…と成長を感じました。